



IIXIL カーテンレール付窓枠 (標準タイプ) (薄型タイプ) 取付け説明書

※ご注意

●この説明書は、必ず組立て・取付けされる方にお渡してください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲ 注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

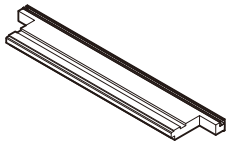
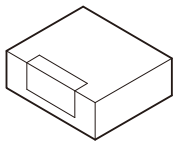
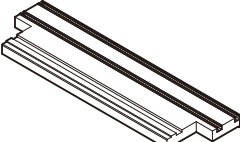
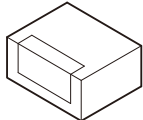
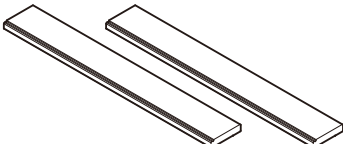
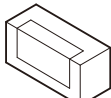
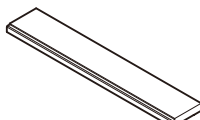

▲ 注意

- 必ず厚さ45mm以上の補強材(躯体)を入れてください。商品が脱落するおそれがあります。
- 開口部・サッシへの取付けの際は、相応の人数で行ってください。誤って落下させた場合、思わぬケガをすることがあります。(組立て後の窓枠重量は最大で約30kgになります。)
- 組上げた窓枠は、上枠を持って持ち運びしてください。上枠の重みで倒れてきた場合、思わぬケガをすることがあります。

■組立て・取付け上のおお願い

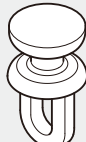
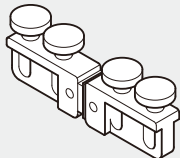

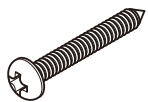
- 造作材・建具枠を取付けるときは、必ず接着剤を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。
- 本製品は、浴室内部など常時湿り気のある場所には、取付けしないでください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したりねじ頭が飛んだり、つぶれる場合があります。
- 造作材・建具枠の下地材は、必ず乾燥剤(含水率20%以下)を使用してください。湿潤材は使用しないでください。壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 窓枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間を作り、かい木を入れてください。かい木は、合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 縦枠をかい木と躯体に固定する際は必ずピンネイルと接着剤を併用してください。窓枠の浮きの原因となります。
- 縦枠からピンネイルが届かない場合は、躯体からかい木へピンネイルを打つなどしてかい木が躯体に固定されるようにしてください。
- かい木に塗布する接着剤は全面に塗布してください。接着剤が少ないと、すき間やソリの原因となります。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具材小口と床面の間に必ず防水処理をしてください。
- 枠を取付ける際、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 各部材のガイド穴にゴミが入らないようにしてください。
- 本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や上枠の垂下がり・ゆがみなどの原因になります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず取付け前にお買い求め店までご連絡ください。(施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。)
- 上枠には必ずかい木を入れてください。上枠にたわみが生じると、カーテンレールの変形につながり、走行不良の原因になります。
- 枠は取付け前に開梱した状態で現場に置かないようにしてください。現場の粉じんがカーテンレール内に混入し走行不良の原因になります。
- 目かくし材は、ハンマーなどで直接たたき込まないでください。
- 運搬・加工の際は、キズ付かないように取扱ってください。
- カーテンレールを切断する際はバリなどのないように、やすりをかけてください。そのままの状態ですと、施工者やお施主さまがケガをするおそれがあります。

■部品・部材の明細

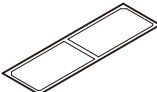
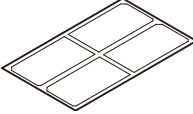
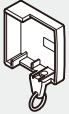
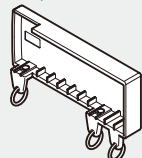

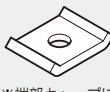
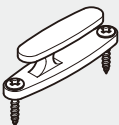
上枠	薄型		ランナー部品 セット	
	標準		端部キャップ セット	
縦枠			サーモス用 窓枠固定金具 セット ※サーモス用のみ	
下枠 ※四方枠のみ			目かくし材	

【デュオその他・サーモス共通】

■ランナー部品セット明細

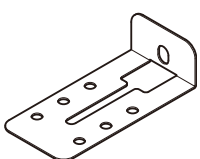
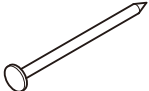
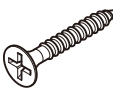
	ランナー 	マグネットセット 	躯体取付け用 丸木ねじ φ4.5×63 	組立て用 トラス先とがりねじ M4×40 
ランナー10個入り	10	1	3	8
ランナー20個入り	20	2	3	8
ランナー30個入り	30	2	6	8
ランナー40個入り	40	2	7	8
ランナー50個入り	50	2	10	8

■端部キャップセット明細

	小口シール (2枚綴り) 	小口シール (4枚綴り) 	端部キャップ (薄型用) 	端部キャップ (標準用) 	端部キャップ 取付け用皿小ねじ M4×12  ※端部キャップに取付け済み	座金  ※端部キャップに 取付け済み	房掛け 
薄型用	2	—	L/R各1	—	2	2	2
標準用	—	1	—	L/R各1	4	4	2

【サーモス専用】

■サーモス用窓枠固定金具セット明細

	窓枠固定金具 	ステンレス釘 #15×32 	ラッパねじ φ3.5×18 
金具10個入り	10	30	10
金具15個入り	15	45	15
金具20個入り	20	60	20

お願い
はじめに部品セット内 内容物のご確認
をお願いします。
あみかけとなっている部品については、
カーテン取付け時に必要な部品です。
カーテン取付けまで紛失しないよう保
管してください。

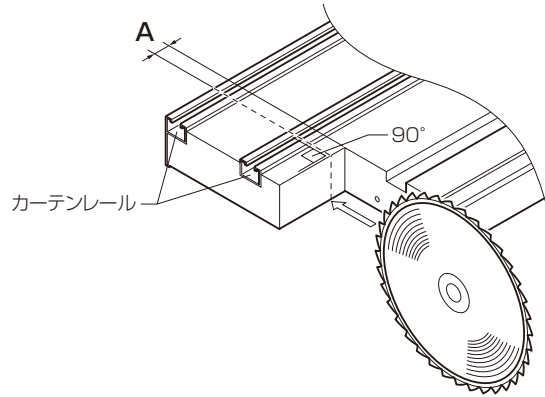
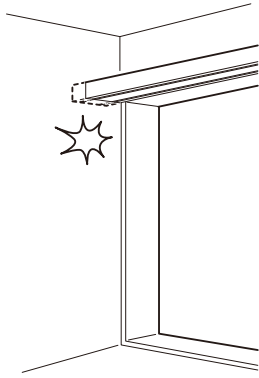
■取付け準備

【サッシを室内側壁の片入隅部に取付ける場合】

■上枠のA寸法を、現場手配の電動のこぎりにて切断してください。切断寸法は現場納まりより算出してください。ただし、端部キャップ取付けのため、A寸法は32mmを下回らないようにしてください。また、カーテンレール端部より15mmの位置にレール固定ねじがあります。切断位置がねじ位置に当たらないようご注意ください。

※カーテンレールに対し直角(90°)に切断してください。

※カーテンレールの切断後にバリなどのないようにしてください。やすりをかけて、除去してください。

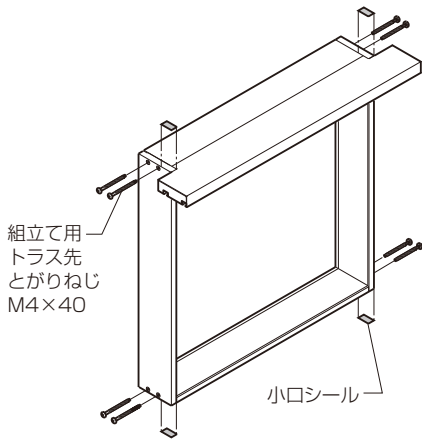


■取付け順序

① 枠組み

(図は四方タイプ)

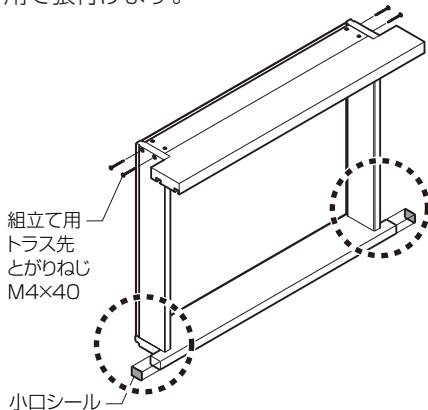
●枠組みをし、同梱の組立て用ねじで固定します。



【窓台タイプ】

●窓台の両端および出幅(⊙部分)は、右図にしたがって切断してください。

●窓台に同梱の小口シールを、窓台の両端に接着剤で張付けます。



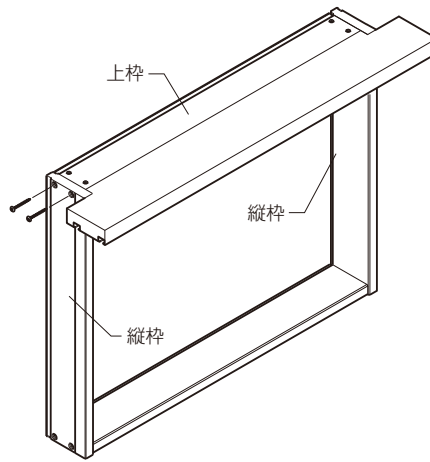
■取付け順序

① 枠組み

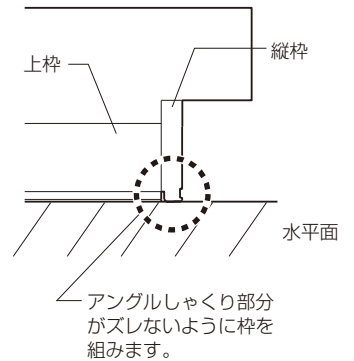
●アングルしゃくり部分にズレがないように枠を組みます。

●縦部材と下枠部材の接合部には、必ず接着剤(現場手配)を塗布してください。

※同梱の小口シールを縦枠小口面に張付けてください。



(図はサーマス)

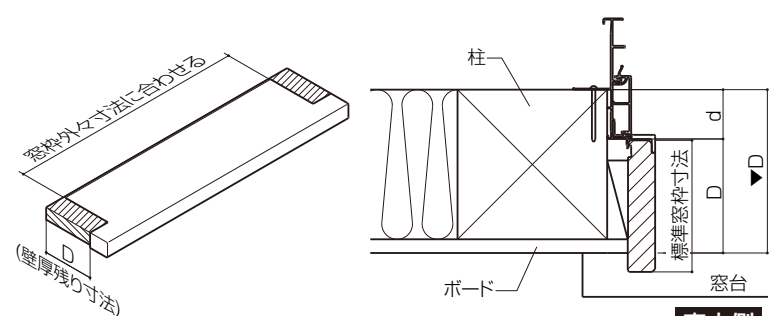


【窓台タイプの場合】

●お願い

●D寸法は必ず、内壁仕上げの寸法を見込んで設計してください。

※D寸法が正しくないと、胴縁およびボードが入らなくなったり、すき間が生じたりします。(下図寸法公式は、左図の参考納まりの場合です。)



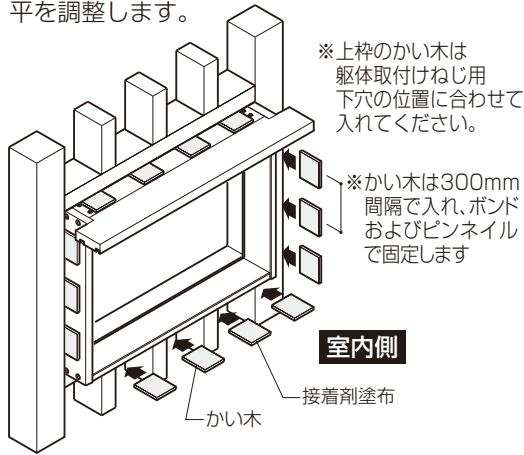
$$\text{壁厚残り寸法}(D) = \text{外壁厚}(\blacktriangledown D) - \text{サッシ柱掛かり}(d)$$

室内側

2 開口部およびサッシ枠への取付け

【デュオその他用】
 (図は四方タイプ)

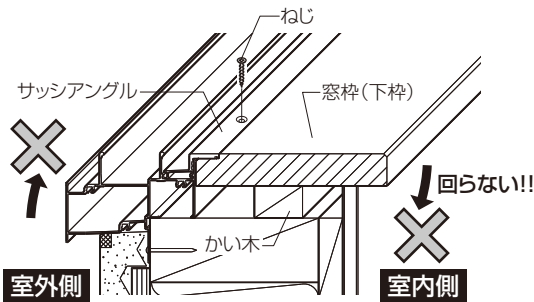
① 枠を開口部に合わせ、かい木を入れて垂直・水平を調整します。



※上枠のかい木は
 躯体取付けねじ用
 下穴の位置に合わせて
 入れてください。

※かい木は300mm
 間隔で入れ、ボンド
 およびピンネイル
 で固定します

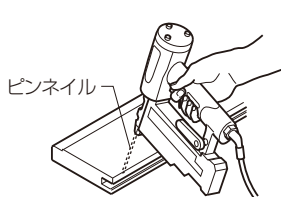
② サッシアングルと窓枠をねじ止めしてください。



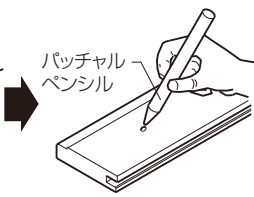
③ 枠をピンネイルと接着剤を用いて固定します。

(面打ちの場合)

① ピンネイルで
 面打ちする



② パッチャルペンシル
 で釘頭処理をする



【サーモス用】

【サーモスねじレス用】

① 窓枠上部からサッシアングルと受けフィンに挿入します。
 窓枠の挿入は、あて木をしてプラスチックハンマーなどでたたき込んでください。

●お願い

●たたき込む際には、レールの下側はたたかないようにしてください。カーテンレールの変形につながり、走行不良の原因になります。

② 続いて下部、縦枠の順に挿入します。

【サーモスねじ付き用】

① 窓枠をサッシに挿入します。

② 最初に上部アングルと窓枠をねじ止めし、次に下部アングルと窓枠、最後に縦アングルと窓枠をねじ止めしてください。
 窓枠のねじ止めはアングルとの間にすき間のないことを確認してから、ねじ止めしてください。

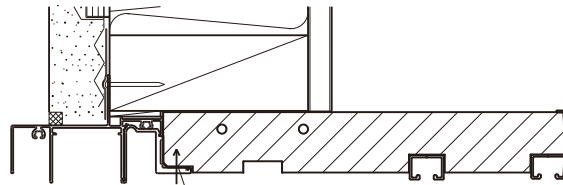
2 開口部およびサッシ枠への取付け

※かい木にて垂直・水平になるように、調整してねじれをなくします。その際、サッシアングルと窓枠の左右のチリを均等にしてください。

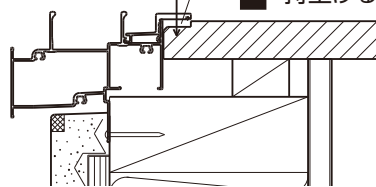
※躯体と、かい木およびかい木と枠の裏面には、必ずノンホルムタイプ接着剤(現場手配)を塗布してください。

※サッシアングルと窓枠を固定する際は、最初に上部サッシアングルと窓枠をねじ止めしてください。
 窓枠を持ち上げ、サッシアングルと窓枠にすき間のないことを確認してから、下部サッシアングルと窓枠をねじ止めしてください。

●上枠部

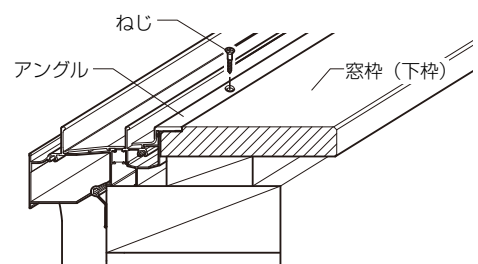
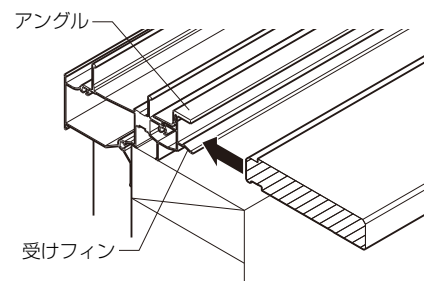


●下枠部



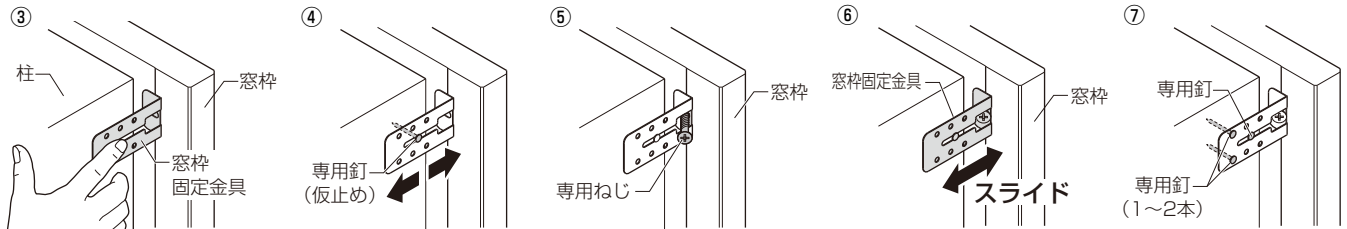
▲注意

- 開口部・サッシへの取付けの際は、相応の人数で行ってください。誤って落下させた場合、思わぬケガをすることがあります。(組立て後の窓枠重量は最大で約30kgになります。)
- 組上げた窓枠は、上枠を持って持ち運びしてください。上枠の重みで倒れてきた場合、思わぬケガをすることがあります。



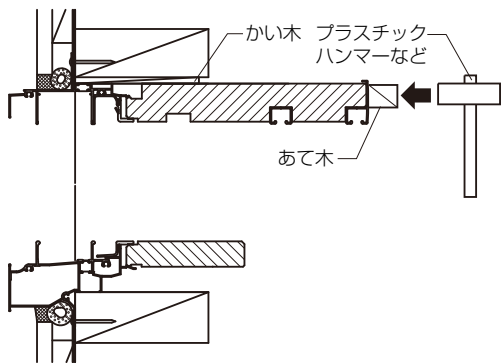
【サーモスねじレス・ねじ付き共通】

- ③ 枠を開口部に合わせ、窓枠固定金具を柱に当てて、窓枠との取り付け位置を決めてください。
- ④ 付属の専用釘を長穴に打込み、仮止めします。その際、金具が動く余裕を持たせてください。
- ⑤ 付属の専用ねじを斜めに窓枠へ打込みます。
- ⑥ 窓枠固定金具をスライドさせ、窓枠の位置を微調整してください。
- ⑦ アングルと窓枠の間にすき間が出来ない位置で、付属の専用釘を1~2本釘穴に打込んで固定してください。
(長穴に打ち込んだ仮止めの釘も最後まで打込んでください。)

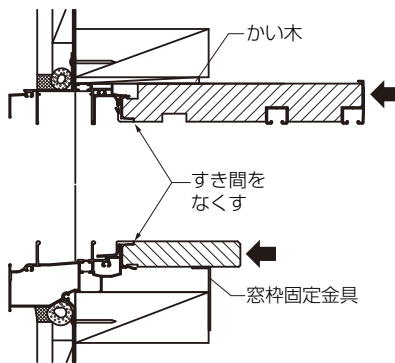


【サーモスねじレス用】

● サッシ枠への取付け

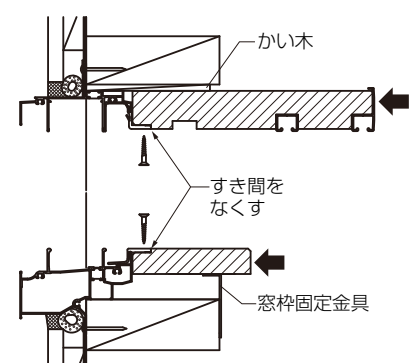


● 開口部への取付け



【サーモスねじ付き用】

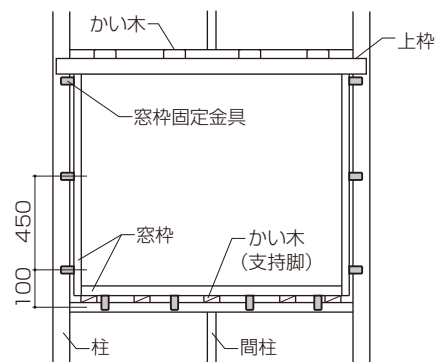
● 開口部への取付け



お願い

1. 上枠の固定には、必ずかい木を入れて施工してください。
2. 窓枠固定金具は柱から100mm離し、450mmピッチで取付けてください。
3. 窓枠の見込み幅が大きい場合や、荷重を受ける部分(下枠部)などには、必ずかい木(支持脚)を入れて施工してください。
かい木(支持脚)は、合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
4. かい木(支持脚)を使用する際は必ず接着剤で固定してください。
5. かい木(支持脚)に塗布する接着剤は全面に塗布してください。
接着剤が少ないと、すき間やソリの原因となります。
6. 取付けの際は、はじめに窓枠をサッシに取付けてから窓枠固定金具を取付けてください。

● 窓枠固定金具施工例



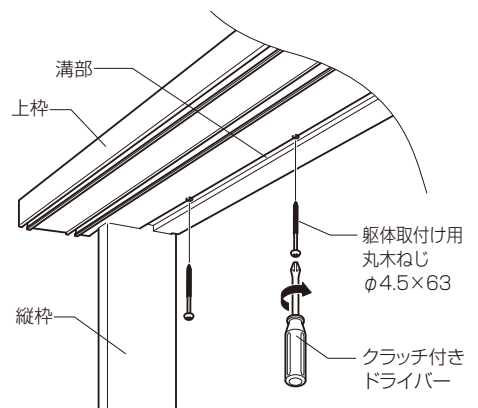
③ 上枠の躯体への取付け

上枠を躯体取付けねじで躯体に取付けます。

③ 上枠の躯体への取付け

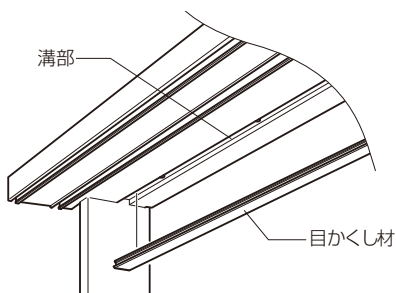
上枠の溝部に躯体取付けねじ用の下穴が空いています。取付け箇所数に応じた数量の躯体取付けねじを、ドライバーで締付けて躯体に取付けます。

※ねじは必ずクラッチ付きドライバーで締付けて躯体(まぐさ)に取付けてください。締付けトルクが弱いと上枠の垂下がり、ゆがみの原因となります。



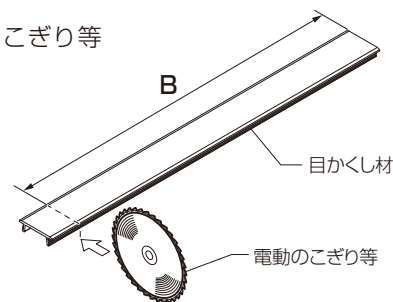
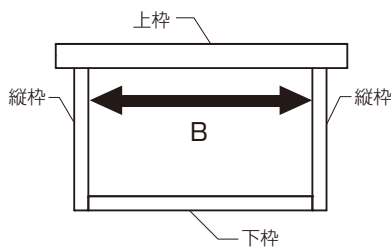
4 目かくし材の取付け

目かくし材を接着剤(現場手配)で取付けます。

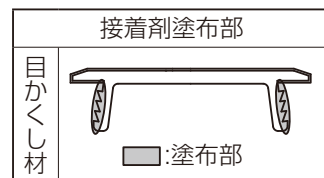


4 目かくし材の取付け

現場で縦枠間 B寸法を測定し、電動のこぎり等で切断してください。

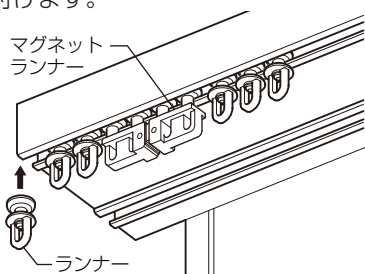


目かくし材の足の外側(リップのある面)に接着剤(現場手配)を取付け、固定してください。接着剤がはみ出した場合は必ずふき取ってください。



5 ランナー・端部キャップの取付け

●付属のランナー・マグネットランナーを取付けます。



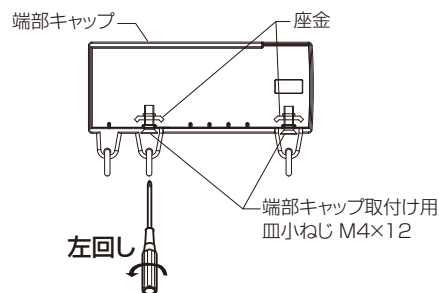
5 ランナー・端部キャップの取付け

●カーテンレールにマグネットランナー、ランナーを取付けます。

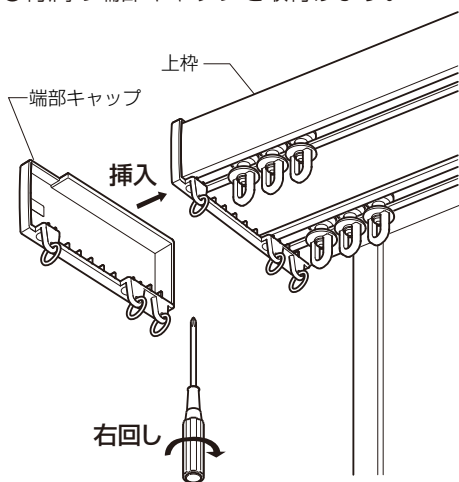
(カーテンを両開きにする場合)

マグネットランナーが中央に来るよう、マグネットランナーの両側に同数のランナーを挿入してください。

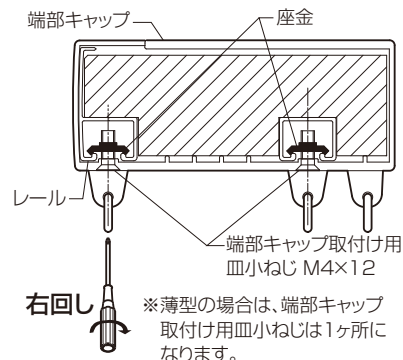
●端部キャップ付属の端部キャップ取付け用皿小ねじをプラスドライバーで緩めてください。



●付属の端部キャップを取付けます。



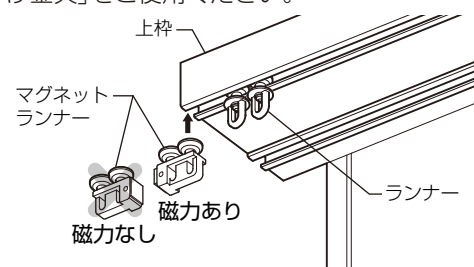
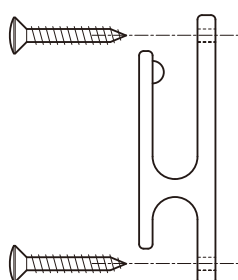
●カーテンレール窓枠の木口に挿入し、端部キャップと付属の座金でレールをはさみ込んでいるのを確認して、端部キャップ取付けねじをプラスドライバーで締付けて固定します。
※ねじの締付けは確実に行ってください。キャップが外れるおそれがあります。
※キャップにはL/Rがありますので、ご注意のうえ、両側に取付けてください。



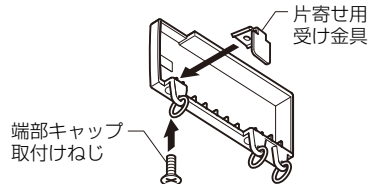
(カーテンを片開きにする場合)※有償部品「片寄せ用受け金具」を別途手配する必要があります。ランナーを必要数取付け後、カーテンを寄せたい側にマグネットランナーの磁力のある方のみを取付けてください。

カーテンを寄せたい側の端部キャップのみ、座金の代わりに有償部品「片寄せ用受け金具」をご使用ください。

●付属の房掛けを取付けます。



【有償部品】
片寄せ用受け金具



●付属のねじで房掛けを固定します。

※房掛けは下地のある位置に取付けてください。ねじがきかず、脱落の原因になります。
※下地のある位置への取付けができない場合は、アンカー(現場手配)などを使用してください。